

「テプラ クリエイター」  
サイレントインストール  
ユーザーズガイド

2025 年10月 03日

株式会社キングジム

改版履歴

版	日付	内容
第1版	2025 年 08 月 05 日	新規作成
第2版	2025 年 10 月 03 日	改版

## 目次

1. はじめに .....	3
2. サイレントインストールについて .....	4
3. コマンド一覧 .....	5
3.1. コマンドパラメータ .....	5
3.2. コマンドプロパティ .....	7
4. サイレントインストールの実行 .....	9
5. アップデートについて .....	10
6. サイレントアンインストールの実行 .....	11
7. ログファイルについて .....	12

## 1. はじめに

本資料は、Windows 向けラベルソフト「テプラ クリエイター」をコマンドライン経由でサイレントインストール／アンインストールする方法について記載しております。

本資料に基づいて「テプラ クリエイター」のサイレントインストール/サイレントアンインストールをする者(以下、利用者)は、コマンドラインについての知識を取得していることを前提に記述しています。

利用者が作成したプログラムによって、ソフトウェア、データ、TEPRA 機器を含むあらゆる機器に対して発生する(直接、間接を問わない)いかなる不具合や、それに起因して生じる損失・逸失利益に対して、株式会社キングジム(以下、当社)はいっさいその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本資料の一部又は全部を無断で転載することを禁止致します。

本資料の著作権は、当社又はその他使用許諾元の権利者に帰属します。

## 2. サイレントインストールについて

- ・ サイレントインストールとは、インストール時に画面表示をせず、自動的にインストールを行う機能です。
- ・ 対象ソフトウェアとバージョンは以下の通りです。

「テプラ クリエイター」	Ver.4.10～
「テプラ クリエイター プリンタドライバ」	Ver.5.53～
「ネットワーク設定確認ツール」	Ver.1.03
「WebAPI 用通信モジュール」	Ver.1.00～

※対象ソフトウェアはすべて日本語版のみ対応しております。

- ・ サイレントインストールの対応機種は以下の通りです。

KING JIM SR-R7900P	KING JIM SR5900P	KING JIM SR-R5600P
KING JIM SR5500P	KING JIM SR3900P	KING JIM SR3700P
KING JIM SR3500P	KING JIM SR-R980	KING JIM SR970
KING JIM SR950	KING JIM SR750	KING JIM SR-R680
KING JIM SR670	KING JIM SR-R560	KING JIM SR550
KING JIM SR530	KING JIM WR1000	KING JIM SR-R5600C
KING JIM SR5900GS	KING JIM SR5900C	KING JIM SR-R5600GS
KING JIM SR3900C	KING JIM SR550C	KING JIM SR530C

- ・ サイレントインストールに対応するテプラの接続方法は USB 接続のみです。有線/無線 LAN、Bluetooth は非対応です。  
※サイレントアンインストールは接続方法を問わずアンインストール可能です。
- ・ サイレントインストール/サイレントアンインストールは「統合インストーラ」にコマンドライン オプションを追加して実行してください。

## 3. コマンド一覧

サイレントインストール/サイレントアンインストール実施時に「結合インストーラ」に渡すコマンドラインオプションは「コマンドパラメータ」と「コマンドプロパティ」を併用して記述してください。

### 3.1. コマンドパラメータ

「コマンドパラメータ」には、以下の種類があります。

各コマンドパラメータは「 」(半角スペース)で区切って記述してください。

なお、コマンドパラメータの大文字/小文字は問いません。

パラメータ	説明
/s	<p>統合インストーラを「サイレントモード」で実行します。</p> <p>「サイレントモード」では、統合インストーラは全ての進捗状況、およびダイアログの一切を表示せず実行されます。</p> <p>/s コマンドパラメータを使用した場合、統合インストーラは「サイレントインストールモード」で動作し、「デフォルト設定」の状態インストールを実行します。インストール設定を変更する場合は /v コマンドパラメータを使用して設定を変更してください。</p> <p>※「デフォルト設定」とは /v コマンドパラメータで指定可能なコマンドプロパティが全て初期値の状態を指します。</p>
/x	<p>統合インストーラを「アンインストールモード」で実行します。</p> <p>/x コマンドパラメータが使用された場合、統合インストーラによってユーザのシステム上にインストールされたアプリケーション、およびドライバをすべて削除します。</p> <p>/x コマンドパラメータは /s と併用して使用してください。/x 単体では動作せず無効となります。</p>
/v	<p>統合インストーラの動作を指定します。</p> <p>/v"&lt;コマンドプロパティ&gt;" の記述で統合インストーラに渡すコマンドプロパティを指定します。</p> <p>/v コマンドパラメータは /s と併用して使用してください。/v 単体では動作せず無効となります。</p> <p>/x コマンドパラメータが指定されている場合も動作せず無効となります。</p> <p>指定可能なコマンドプロパティは下記のコマンドプロパティ一覧表を参照してください。</p>
/l	<p>統合インストーラの実行ログ出力有無を指定します。</p>

	<p>/l コマンドパラメータが使用された場合、統合インストーラは実行完了後に動作ログを出力します。</p> <p>/l"&lt;ファイルパス&gt;" の記述で統合インストーラの実行ログ出力先を指定してください。</p> <p>/l コマンドパラメータは /s と併用して使用してください。/l 単体では動作せず無効となります。</p> <p>ログファイルの出力内容は項目「ログファイル」を参照してください。</p>
--	---

## 3.2. コマンドプロパティ

「コマンドプロパティ」には、以下の種類があります。

コマンドプロパティの記述は以下のフォーマットとし、コマンドプロパティ同士は「 」(半角スペース)で区切って記述してください。

なお、コマンドプロパティおよび設定値の大文字/小文字は問いません。

[プロパティ]=[値]←通常

[プロパティ]=¥"[値]"¥←エスケープが必要な場合

プロパティ	設定値	初期値(※1)	説明
APP	TRUE / FALSE	インストール時 : TRUE アップデート時 : TRUE アンインストール時 : -	<p>「テプラ クリエイター」のインストール有無を指定します。</p> <p>「TRUE」を指定した場合、アプリケーションインストーラの「機能選択画面」で「テプラ クリエイター」のチェックを入れた状態と同様の動作となります。</p> <p>「FALSE」の場合は、同画面でチェックを外した状態と同様の動作となります。</p> <p>本プロパティは /s コマンドパラメータ時のみ指定可能です。</p> <p>/x コマンドパラメータが指定された場合は無視します。</p>
NTCONF	TRUE / FALSE	インストール時 : FALSE アップデート時 : FALSE アンインストール時 : -	<p>「ネットワーク設定確認ツール」のインストール有無を指定します。</p> <p>「TRUE」を指定した場合はアプリケーションインストーラの「機能選択画面」で「ネットワーク設定確認ツール」のチェックを入れた状態と同様の動作となります。</p> <p>「FALSE」の場合は、同画面でチェックを外した状態と同様の動作となります。</p> <p>本プロパティは /s コマンドパラメータ時のみ指定可能です。</p> <p>/x コマンドパラメータが指定された場合は無視します。</p>
WEBAPI	TRUE / FALSE	インストール時 : FALSE アップデート時 : FALSE アンインストール時 : -	<p>「WebAPI 用通信モジュール」のインストール有無を指定します。</p>



			<p>「TRUE」を指定した場合はアプリケーションインストーラの「機能選択画面」で「WebAPI 用通信モジュール」のチェックを入れた状態と同様の動作となります。</p> <p>「FALSE」の場合は、同画面でチェックを外した状態と同様の動作となります。</p> <p>本プロパティは /s コマンドパラメータ時のみ指定可能です。</p> <p>/x コマンドパラメータが指定された場合は無視します。</p>
INSTALLDIR	Folder Path	<p>インストール時 : %Program Files%KING JIM</p> <p>アップデート時 : -</p> <p>アンインストール時 : -</p>	<p>アプリケーションインストーラのインストールフォルダを指定します。</p> <p>本プロパティは /s コマンドパラメータ時のみ指定可能です。</p> <p>/x コマンドパラメータが指定された場合は無視します。</p>
DRIVER	ドライバ名	<p>インストール時 : 空文字</p> <p>アップデート時 : 空文字</p> <p>アンインストール時 : -</p>	<p>インストールするドライバを指定します。</p> <p>ユーザのシステム環境に新規インストールするドライバ名を記述してください。ドライバ名は複数指定可能です。ドライバ名は「,」(カンマ)で区切って記述してください。空文字の場合は新規ドライバ追加は実施しません。</p> <p>すでにインストール済みのドライバや不明なドライバ名は無視されます。</p> <p>※アップデート時ではインストール済みのドライバは記述せずとも更新されます。</p> <p>本プロパティは /s コマンドパラメータ時のみ指定可能です。</p> <p>/x コマンドパラメータが指定された場合は無視します。</p>

※1 プロパティが明示的に指定された場合はその指定値に従い、プロパティ値が省略された場合は、内部的にそのプロパティの「初期値」を適用してください。

「-」は指定不可を示しています。

## 4. サイレントインストールの実行

サイレントインストールは、統合インストーラの実行ファイルに以下のようにコマンドラインオプションを付加して実行します。

※記載するコマンド例は、統合インストーラと同一ディレクトリ階層に遷移した状態で実行した場合となります。

〈例〉

「テプラ クリエイター」のみをインストールする。

```
> Setup.exe /s
```

「テプラ クリエイター + ドライバ 1 機種」をインストールする。

```
> Setup.exe /s /v"DRIVER=SR-R5600P"
```

「テプラ クリエイター + ネットワーク設定確認ツール + ドライバ 2 機種」をインストールする。

```
> Setup.exe /s /v"NTCONF=TRUE DRIVER=SR-R5600P,SR5900P"
```

「テプラ クリエイター + ネットワーク設定確認ツール」を指定のパスへインストールする。

```
> Setup.exe /s /v"NTCONF=TRUE INSTALLDIR=¥"E:¥TEPRA¥""
```

「テプラ クリエイター + ドライバ 1 機種」をインストールし、指定のフォルダに実行ログを保存する。

```
> Setup.exe /s /v"DRIVER=SR-R5600P" /l"E:¥TEPRA¥Log¥inst.log"
```

## 5. アップデートについて

すでにアプリやドライバがインストールされた環境に対し、/s コマンドパラメータでサイレントインストールを実施した場合は、指定したコマンドラインオプションを元に、「アップデート処理」を実施します。

〈例〉

「テプラ クリエイター」+「ネットワーク設定確認ツール」+「SR5900P」がインストールされた環境に対し、以下のコマンドでサイレントインストールを実施した場合、

```
> SetUp.exe /s /v"NTCONF=TRUE DRIVER=SR-R5600P"
```

既にインストール済みであった「テプラ クリエイター」、「ネットワーク設定確認ツール」、「SR5900P」は更新され、「SR-R5600P」が新規にインストールされます。

この際、以下のように "NTCONF" コマンドプロパティを省略して実行してしまった場合、

```
> SetUp.exe /s /v"DRIVER=SR-R5600P"
```

「テプラ クリエイター」、「SR5900P」は更新され、「SR-R5600P」が新規にインストールされますが、"NTCONF" コマンドプロパティ省略時の初期値が「FALSE」のため、「ネットワーク設定確認ツール」は削除されてしまいますのでご注意ください。

インストール済みの環境に対し /s を用いる場合は、必ず /v で各種コマンドプロパティを省略せず(※)記述する必要があります。

※アップデート時に記述しても無効となるコマンドプロパティは除く(INSTALLDIR=等)

インストール済みのドライバをコマンドプロパティで指定した場合はその引数は無視されます。

〈例〉

「テプラ クリエイター」+「SR5900P」がインストールされた環境に対し、以下のコマンドでサイレントインストールを実施した場合

```
> SetUp.exe /s /v"DRIVER=SR5900P"
```

「テプラ クリエイター」、「SR5900P」は上書きアップデート処理により更新されますが、新規インストールとして指定した "DRIVER=SR5900P" コマンドプロパティは無視されます。

## 6. サイレントアンインストールの実行

サイレントアンインストールは、統合インストーラの実行ファイルに以下のようにコマンドラインオプションを付加して実行します。

※記載するコマンド例は統合インストーラと同一ディレクトリ階層に遷移した状態で実行した場合とします。

〈例〉

アプリ、およびドライバを全てアンインストールします。

```
> Setup.exe /s /x
```

アプリ、およびドライバを全てアンインストールし、指定のフォルダに実行ログを保存します。

```
> Setup.exe /s /x /l"E:¥TEPRA¥Log¥inst.log"
```

サイレントアンインストールは、サイレントインストール時のような引数による処理のカスタマイズは行いません。アプリ、およびドライバはすべて削除する動作のみとなります。

## 7. ログファイルについて

サイレントインストール／サイレントアンインストール実施時に作成できる実行ログのファイルフォーマットを定義しています。

ログファイルのファイル名、および拡張子は /l コマンドパラメータを指定した際に記述したファイル名と拡張子に従い生成されます。

指定のファイルが既に存在する場合は上書き処理されます。

ファイルフォーマット

ResultCode=0
--------------

サイレントインストール／サイレントアンインストールの結果は「ResultCode」の値で確認してください。

0(ゼロ)の場合は正常終了です。それ以外の値は正常終了ではないことを示しておりますので、詳細は「ResultCode」の内容を参照してください。

ResultCode	内容
0	インストール、またはアンインストールが正常終了した。
1	アプリケーションのインストール、またはアンインストールが正常終了しなかった。
2	ドライバのインストール、またはアンインストールが正常終了しなかった。
3	起動に必要なファイルが見つからない。
4	旧バージョンがインストールされている。 「テプラ クリエイター」Ver.4.00 未満のアプリケーションがユーザ環境にインストールされているため実行できない。